

# Mercury-ONE バージョンアップ編

## 目次

バージョンアップ時には、プロテクトの更新または書き換えの後に、最新プログラムにバージョンアップします。

### プロテクトの更新または書き換え をおこないます 1

- 1 ネット認証ライセンス（占有）の更新 ..... 2
- 2 ネット認証ライセンス（共有）の更新 ..... 3
- 3 ネット認証ライセンス（LAN）の更新 ..... 4
- 4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え ..... 6
- 5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え ..... 7
- 6 プロテクト Q&A ..... 8

### Mercury-ONE を バージョンアップします ..... 13

- 1 インストール方法を確認します ..... 14
- 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 ..... 15
- 3 「サーバクライアント（共同編集あり）」の  
バージョンアップ手順 ..... 18
- 4 「サーバクライアント（共同編集なし）」の  
バージョンアップ手順 ..... 24
- 5 フリーフォーマットを追加します ..... 29

## FCアカウントでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCアカウント」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※「**プログラム保守**」をご契約のお客様専用のサービスです。

FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」を開きます。  
「ライセンスの更新」を行った後、「最新版プログラム」から、プログラムをインストールしてください。

# セットアップの前に確認してください



Check

## セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

## セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

## データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。  
バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

# プロテクトの更新または書き換えをおこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、まず「ネット認証ライセンスの更新」または「USBプロテクトの書き換え」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新/書き換えをおこなってください。

1. ネット認証ライセンス（占有）の更新 .....	2
2. ネット認証ライセンス（共有）の更新 .....	3
3. ネット認証ライセンス（LAN）の更新 .....	4
4. USBプロテクト【SNS-W】の書き換え .....	6
5. USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え .....	7
6. プロテクト Q&A .....	8

# 1 ネット認証ライセンス（占有）の更新

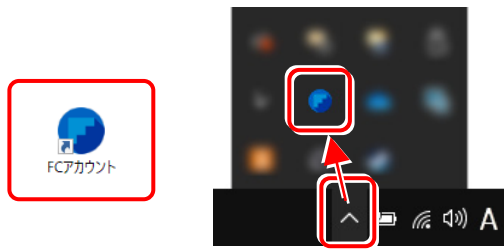
「ネット認証ライセンス（占有）」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

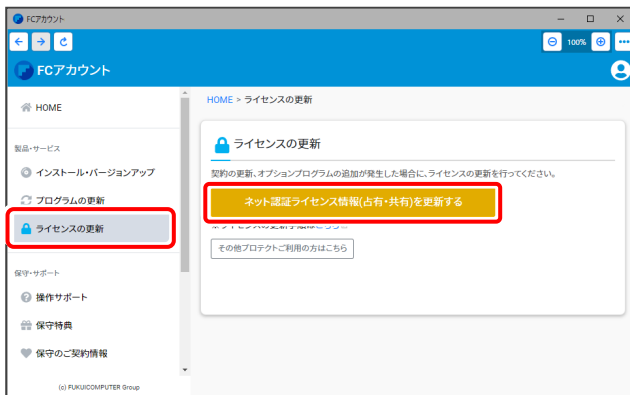
## Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



FCアカウントが表示されます。

「ライセンスの更新」の「ネット認証ライセンス情報（占有・共有）を更新する」をクリックします。



### FCアカウントを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

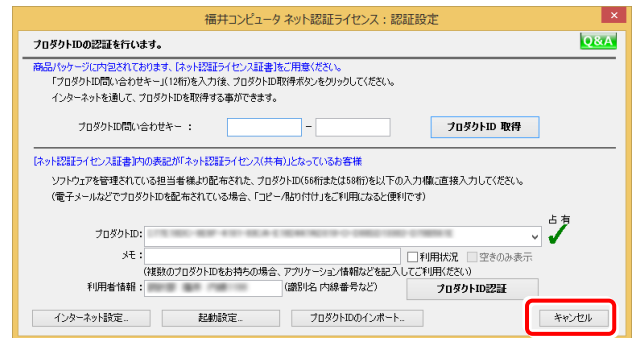


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス：認証設定」画面（下画面）が表示された場合は

プログラムの起動時にライセンス情報が自動更新されますので、更新の必要はありません。

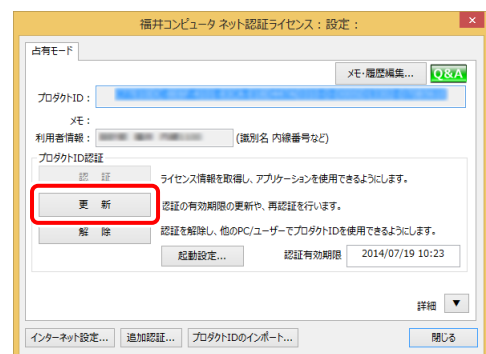
「キャンセル」ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス：設定」画面（下画面）が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

「更新」ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

## 2 ネット認証ライセンス（共有）の更新

「ネット認証ライセンス（共有）」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

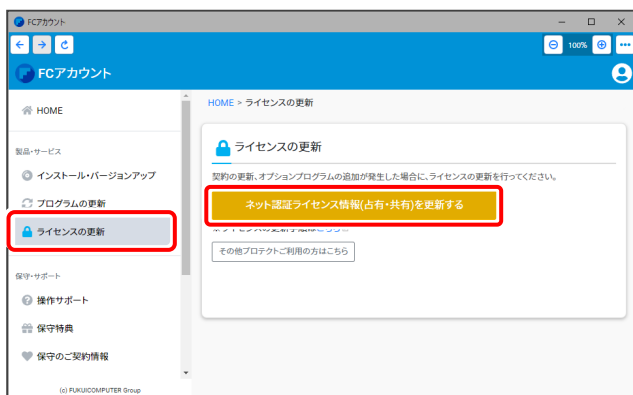
### Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



FCアカウントが表示されます。

「ライセンスの更新」の「ネット認証ライセンス情報（占有・共有）を更新する」をクリックします。



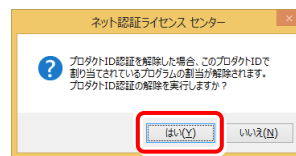
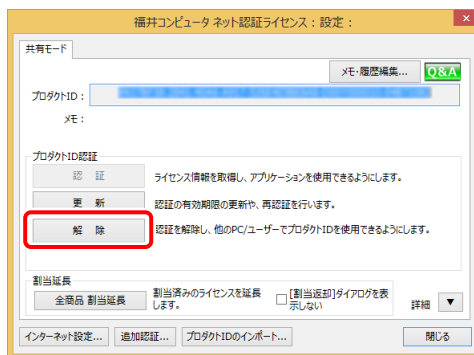
#### FCアカウントを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

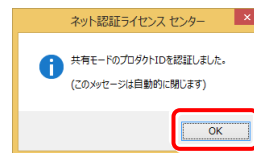
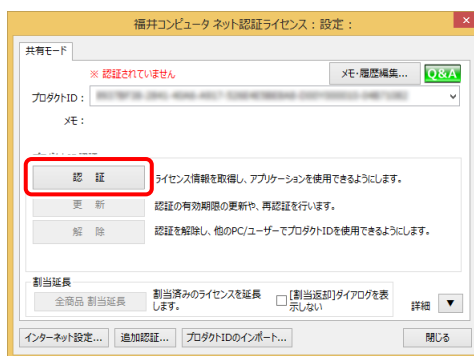


2. 「ネット認証ライセンス：設定」画面が表示されます。

「解除」ボタンを押して、プロダクトIDを解除します。



3. そのまま続けて、「認証」ボタンを押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

## 3 ネット認証ライセンス (LAN) の更新

「ネット認証ライセンス (LAN)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

- ※ ライセンス情報を更新しないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。
- ※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

### Step1 | ネット認証LANサーバーの更新

1. ネット認証ライセンス (LAN) のサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



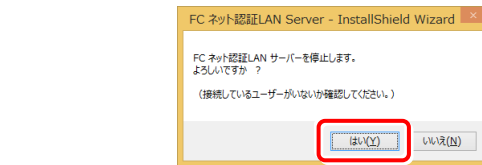
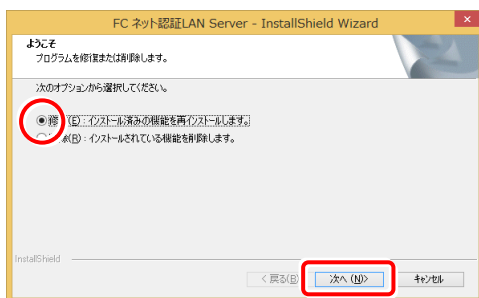
2. セットアップ画面の [ネット認証ライセンス LANモードサーバー] を押します。



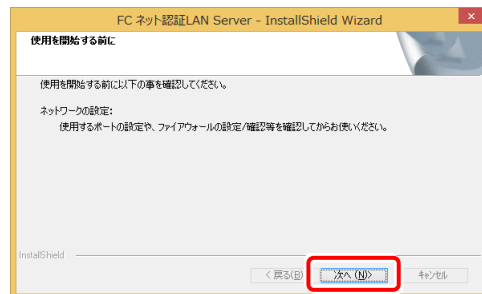
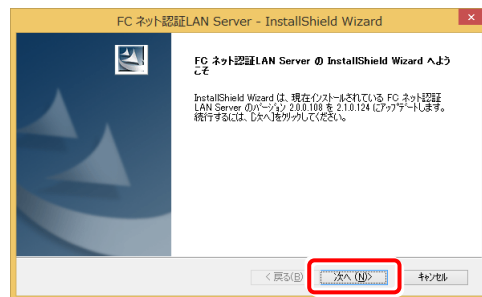
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーを更新します。

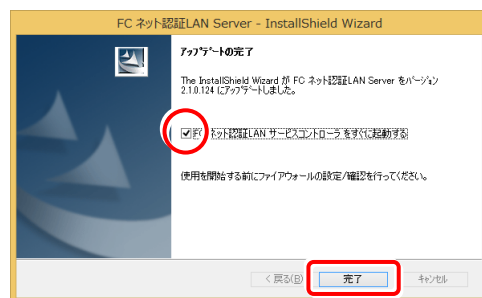
[修復] と [削除] の選択画面が表示された場合は、[修復] を選択してください。



※ 表示される画面は、異なる場合があります。



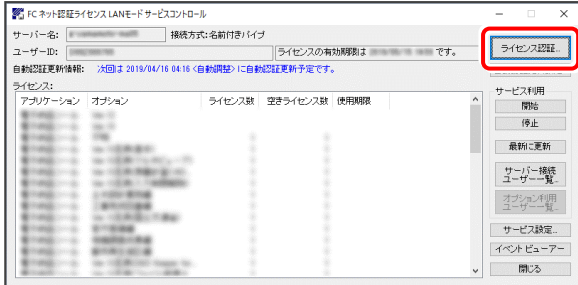
4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する] にチェックボックスが表示された場合は、「オン」にして、[完了] を押します。



(次ページへ進みます)

Step2 | ライセンス情報の更新 (サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面から [ライセンス認証] を押します。



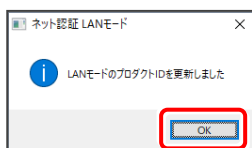
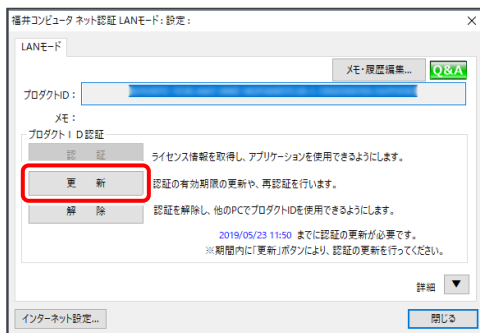
※ 上記画面が表示されていない場合は、

**Windows11** : スタートメニューの「すべてのアプリ」

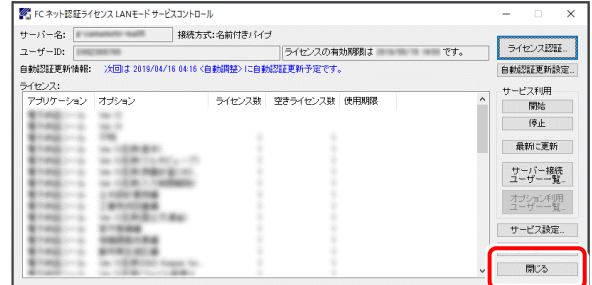
**Windows10** : スタートメニュー

から、[FC ネット認証LAN Server] – [FC ネット認証LAN サービスコントロール] を起動してください。

2. [更新] を押します。



3. ライセンス情報が更新されたことを確認し、[閉じる] を押します。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

## 4 USBプロテクト【SNS-W】の書き換え

「USBプロテクト【SNS-W】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

※ ライセンス情報を書き換えないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。

### Step1 | プロテクトの書き換え

1. コンピューターに、書き換えを行う USBプロテクトを、1つだけ装着します。

※1つだけ



2. 「プロテクト書換CD」を、コンピューターにセットします。



(プロテクト書換CD)

3. プロテクトを選択する画面が表示された場合は、「SNS-Wタイプ」をクリックします。



※ 表示される画面は異なる場合があります。

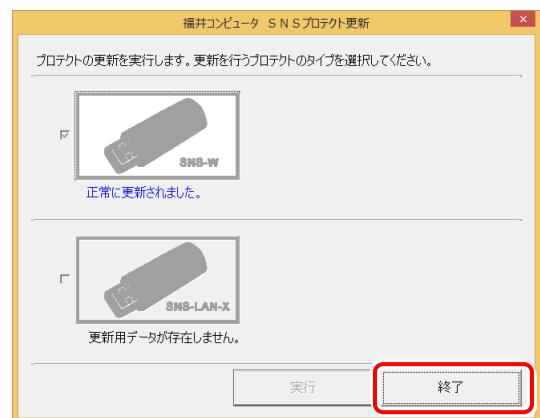
※ 上記画面が表示されない場合は、「プロテクト書換CD」内の [Install.exe] を実行してください。

4. 【SNS-W】にチェックが入っている事を確認して、「実行」ボタンを押します。



※ 複数のUSBプロテクトをお持ちの場合は、プロテクトを付け替えてから、同手順を繰り返します。  
必ず1つずつ書き換えてください。

5. 正常終了したら【終了】ボタンを押して画面を閉じます。



以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ



## 5 USBプロテクト【SNS-LAN-X】の書き換え

「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を書き換えてください。

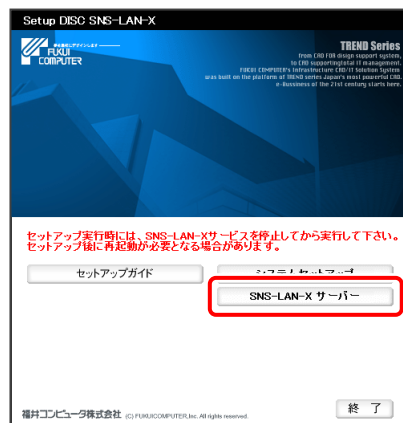
※ ライセンス情報を書き換えないと、追加購入したプログラムやバージョンアップしたプログラムを使用できません。

### Step1 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム) の更新

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーに、送付された新しい「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をセットします。



2. [SNS-LAN-Xサーバー] ボタンを押します。



メッセージにしたがって、プログラムとライセンスを更新します。

以上でUSBプロテクトの書き換えは完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

P.13へ

#### 送付された「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください

サーバー入れ替えなどで、SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）の新規インストールが必要になった場合は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」を使用して新規インストールします。

最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」は、大切に保管してください。

## 6 プロテクト Q&A

### Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

### A.1

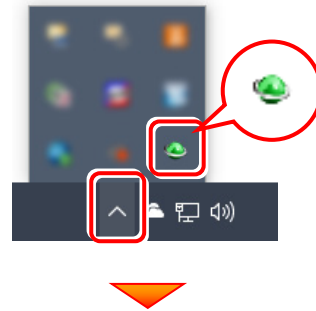
ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。

Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

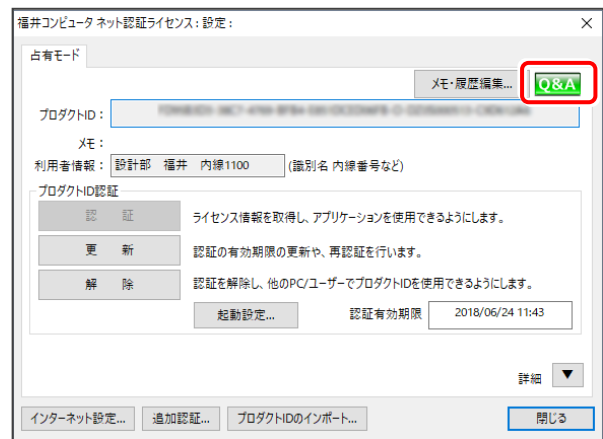
#### 開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

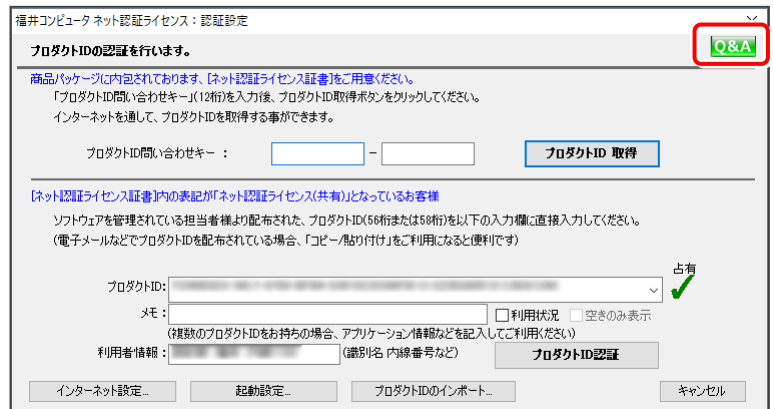


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。  
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



**Q.2**

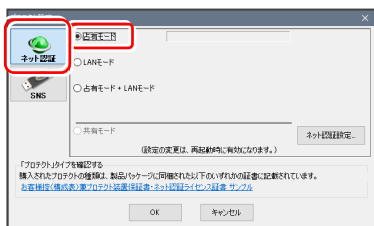
プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。  
どうすればいいのでしょうか？

**A.2**

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。

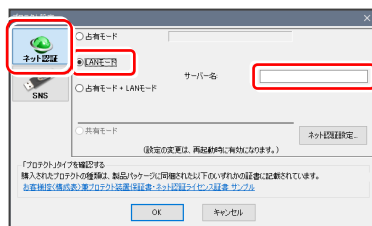
**【ネット認証ライセンス（占有）】を使用**

[ネット認証] -  
[占有モード] を選択



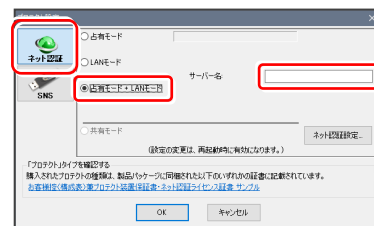
**【ネット認証ライセンス（LAN）】を使用**

[ネット認証] -  
[LANモード] を選択



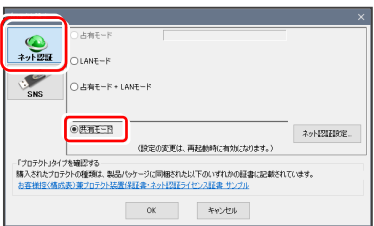
**【ネット認証ライセンス（占有）】と【ネット認証ライセンス（LAN）】を併用**

[ネット認証] -  
[占有モード+LANモード] を選択



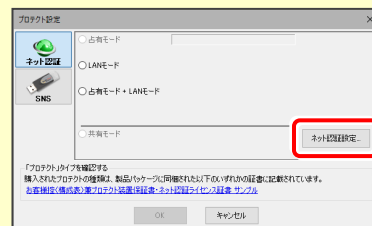
**【ネット認証ライセンス（共有）】を使用**

[ネット認証] -  
[共有モード] を選択



【ネット認証ライセンス（LAN）】を使用する場合は、[サーバー名] に、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバーのコンピュータ名を入力してください。

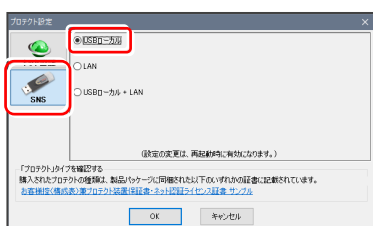
モードが選択できない場合は、  
[ネット認証設定] ボタンを押して、  
ネット認証ライセンスの製品IDを  
認証してください。



**【SNS-W】を使用**



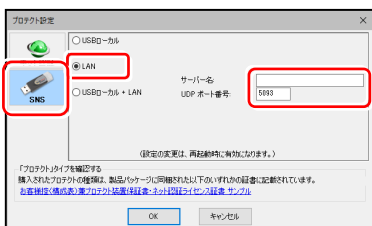
[SNS] - [USBローカル] を選択



**【SNS-LAN-X】を使用**



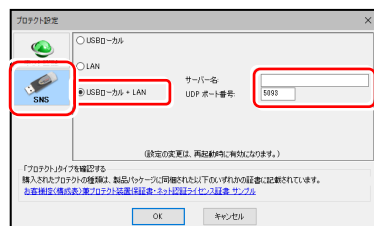
[SNS] - [LAN] を選択



**【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用**



[SNS] -  
[USBローカル+LAN] を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名] に【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーのコンピュータ名を入力してください。  
また [ポート番号] には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の [オプション] で設定されたポート番号を入力してください。（11ページを参照）

## Q.3

ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス管理について教えてください。

## A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス（LAN）」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

### — 起動方法 —

- Windows11 の場合：Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合：Windowsのスタートメニュー

から、「FC ネット認証LAN Server」 - 「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main application window with several callout boxes explaining its features:

- [サーバー名]** サーバーのコンピューター名が表示されます。
- [ユーザーID]** ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。
- [ライセンス数]** 同時使用が可能なライセンス数が表示されます。
- [空きライセンス数]** 現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。
- [サービス設定]** 接続設定やログファイルを設定します。
  - [接続] タブ** 接続プロトコルを設定します。
  - [動作ログ] タブ** 使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
  - [使用状況ログ] タブ** 使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。
- [ライセンス認証]** プロダクトIDの認証・更新などを行います。
- [自動更新設定]** 認証の自動更新処理について設定します。
- [開始]** サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。
- [停止]** サービスを停止します。
- [最新に更新]** 空きライセンスなどを最新の情報に更新します。
- [サーバー接続ユーザー一覧]** ライセンスを使用しているユーザーを確認します。
- [オプション利用ユーザー一覧]** 選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。
- [イベントビューアー]** Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの対応時に使用します。

- [動作ログ] には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
  2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
  3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ\_ (日時).log です。
- [使用状況ログ] には、「何時何分の」ライセンスの空き状況が記録されます。使用するには、
  1. [ログの出力] チェックボックスをオンにし、[パス] にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔] と [最大履歴数] は適宜に設定）。
  2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

## Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

## A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

### — 起動方法 —

- Windows11 の場合： Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合： Windowsのスタートメニュー

から、「FC SNS-LAN-X Server」 - 「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a top menu bar with '開始(S)', '停止(T)', '更新(P)', '接続ユーザ(U)', and 'オプション(O)...'. Below the menu is a table with columns for 'ライセンス数' and '空きライセンス数'. A '接続ユーザ(U)...' button is located at the bottom right of the main window. A separate 'オプション' dialog box is shown at the bottom right, with a 'UDP' section containing a 'ポート番号' field set to '5093'.

**[サーバ]**  
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

**[ユーザID]**  
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

**[ライセンス数]**  
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

**[空きライセンス数]**  
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

**[開始] ボタン**  
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

**[停止] ボタン**  
サービスを停止します。

**[更新] ボタン**  
表示されている情報を最新に更新します。

**[接続ユーザ] ボタン**  
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

**[オプション] ボタン**  
接続設定やログファイルを設定します。

**[接続] タブ**  
接続で使用するポート番号を設定します。

**[使用状況ログ]**  
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **【ポート番号】**の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- **【使用状況ログ】**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
  1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」にログファイルの出力先を設定。（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）
  2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
  3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
  4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

**Q.5**

「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

**A.5**

「FCアカウント」では、下記をはじめとした様々な機能がお使いいただけます。

・ **製品のアップデート**

CAD製品のアップデートプログラムの提供やライセンスの更新、再セットアップ用ファイルのご提供などにご利用いただけます。

・ **保守サポートサービスのご利用**

保守サポートサービス「FCメンバーシップ」のご契約情報確認・各種手続き・ご契約特典などの様々な機能をご利用いただけます。

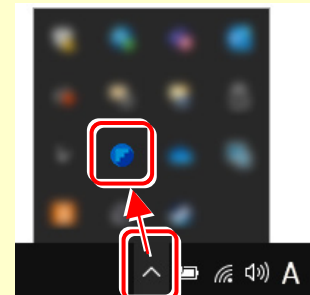
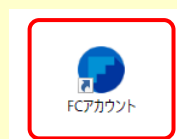


※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

**「FCアカウント」を起動させるには**

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



# Mercury-ONE を バージョンアップします

バージョンアップ時には、プロジェクトの更新または書き換えの後に、  
最新プログラムにバージョンアップします。

またフリーフォーマットの追加も必要です。

各ページを参照して、プログラムのバージョンアップをおこなってください。

1. インストール方法を確認します ..... 14
2. 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 ..... 15
3. 「サーバークライアント（共同編集あり）」の  
バージョンアップ手順 ..... 18
4. 「サーバークライアント（共同編集なし）」の  
バージョンアップ手順 ..... 24
5. フリーフォーマットを追加します ..... 29



# 1 インストール方法を確認します

Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。  
現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをバージョンアップしてください。

## スタンドアロン

すべてのファイルを、  
1台のコンピューターに  
インストールします。

1台のコンピューターで、  
現場データを編集します。

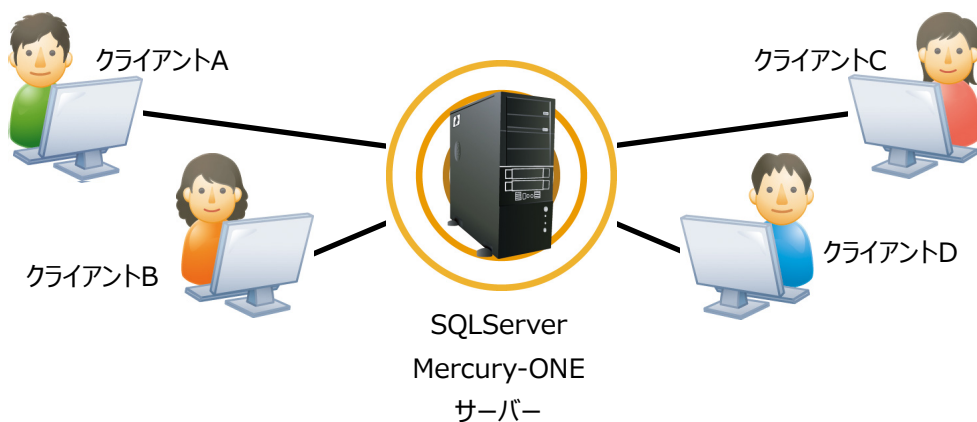


次ページへ

## サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイルを  
サーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで  
同時に共同編集できます。

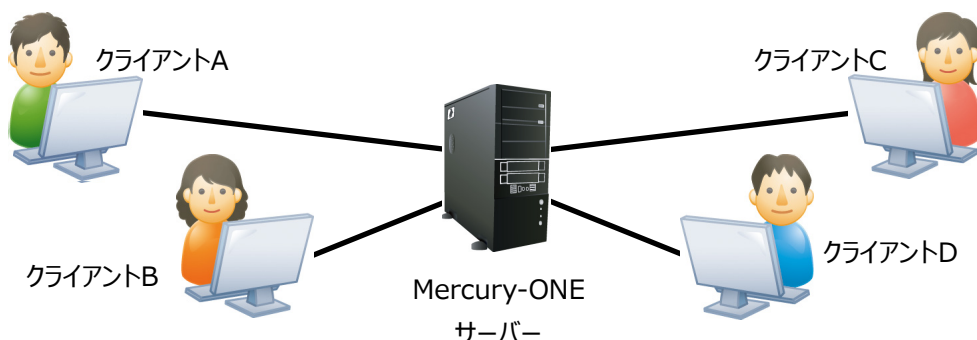


P.18へ

## サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイルを  
サーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。



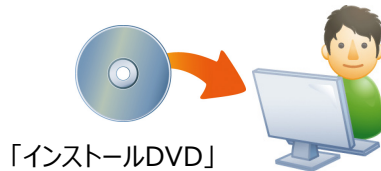
P.24へ



## 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。

### 1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



「インストールDVD」

### 2. セットアップ画面の

「Mercury-ONE」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の  
[Install.exe] を実行してください。

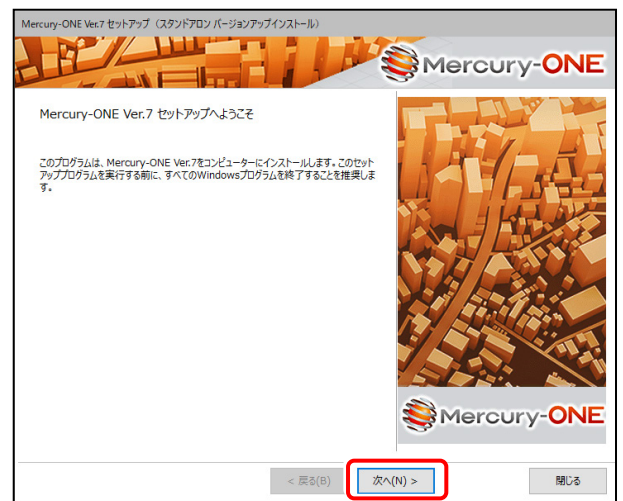
「スタンドアロン」タブを選択します。



「Mercury-ONE」ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

【ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。



内容を確認して、【次へ】を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、【次へ】を押します。



【プロテクト】タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、【「プロテクト」タイプを変更する】 ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



### 【 ネット認証 】

- ・ **【占有】** : ネット認証ライセンス (占有) の場合に選択します。
- ・ **【LAN】 (※1)** : ネット認証ライセンス (LAN) の場合に選択します。
- ・ **【占有 + LAN】 (※1)** : ネット認証ライセンス (占有) とネット認証ライセンス (LAN) を併用する場合に選択します。
- ・ **【共有】** : ネット認証ライセンス (共有) の場合に選択します。

(※1) LANの場合は、「FCネットワーク認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

### 【 SNS 】

- ・ **【USBローカル】** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
- ・ **【LAN】 (※2)** : USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
- ・ **【USBローカル + LAN】 (※2)** : USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。

(※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

### 3 「サーバークライアント（共同編集あり）」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント（共同編集あり）」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。

まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。

次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

#### まず、サーバーをバージョンアップします

##### Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の  
[Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の  
[Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント（共同編集あり）] タブを  
選択します。



[② Mercury-ONE サーバーインストール] ボタン  
を押します。



(次ページへ続きます)

### 3. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、  
[次へ] ボタンを押します。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します] を  
選択します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)





インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。



**サーバーのバージョンアップは完了です。**

**続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。**

(次ページ「Step2」へ進みます)

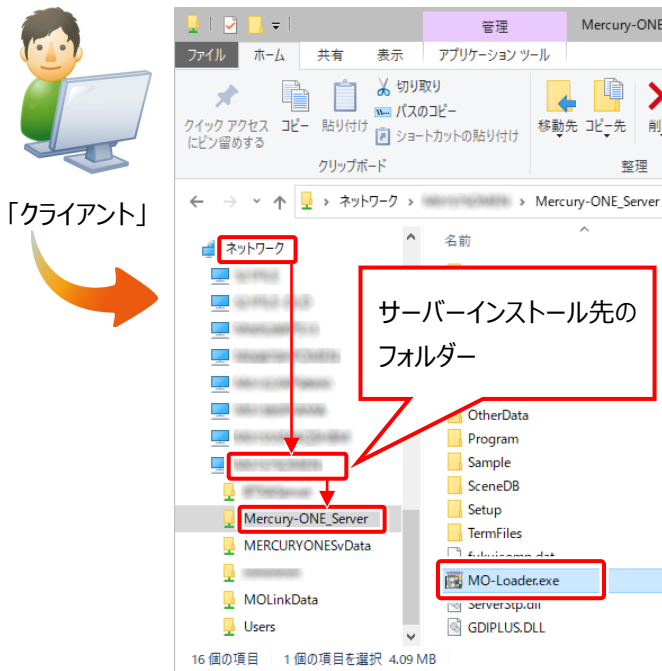
## 次に、クライアントをバージョンアップします

## Step2 | Mercury-ONE

## クライアントのバージョンアップ

## 1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。

「ネットワーク」からサーバーを選択して、  
「サーバーインストール先のフォルダー」にある  
「MO-Loader.exe」を実行します。

**クライアントとサーバーが、同一PCの場合は**

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から  
自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある  
「MO-Loader.exe」を実行してください。

## 2. インストール環境の確認画面が表示されます。



すべての項目をチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

### 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



【ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。



内容を確認して、【次へ】を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、【次へ】を押します。



【プロテクト】タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、【「プロテクト」タイプを変更する】 ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



#### 【 ネット認証 】

- ・【占有】：ネット認証ライセンス（占有）の場合に選択します。
  - ・【LAN】（※1）：ネット認証ライセンス（LAN）の場合に選択します。
  - ・【占有 + LAN】（※1）：ネット認証ライセンス（占有）とネット認証ライセンス（LAN）を併用する場合に選択します。
  - ・【共有】：ネット認証ライセンス（共有）の場合に選択します。
- （※1） LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

#### 【 SNS 】

- ・【USBローカル】：USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
  - ・【LAN】（※2）：USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
  - ・【USBローカル + LAN】（※2）：USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- （※2） LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

（次ページへ続きます）



サーバー名を確認して次へ進みます。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。

#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.29へ

# 4

## 「サーバークライアント（共同編集なし）」の

## バージョンアップ手順

「サーバークライアント（共同編集なし）」で使用中の Mercury-ONE をバージョンアップします。

まずサーバーで「Step1 | Mercury-ONE サーバーのバージョンアップ」をおこないます。

次にクライアントで「Step2 | Mercury-ONE クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

### まず、サーバーをバージョンアップします

#### Step1 | Mercury-ONE

#### サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の

「Mercury-ONE」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「Install.exe」を実行してください。

「サーバークライアント（共同編集なし）」タブを選択します。



「① Mercury-ONE サーバーインストール」ボタンを押します。

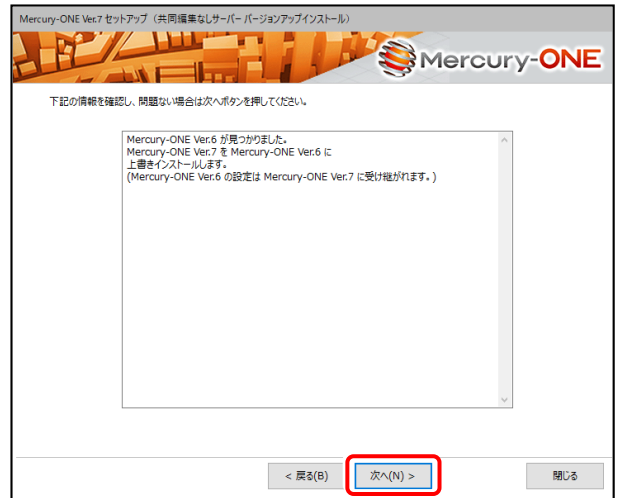


（次ページへ続きます）

**3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。**



内容を確認して、[次へ] を押します。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



#### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

サーバーのバージョンアップは完了です。

続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

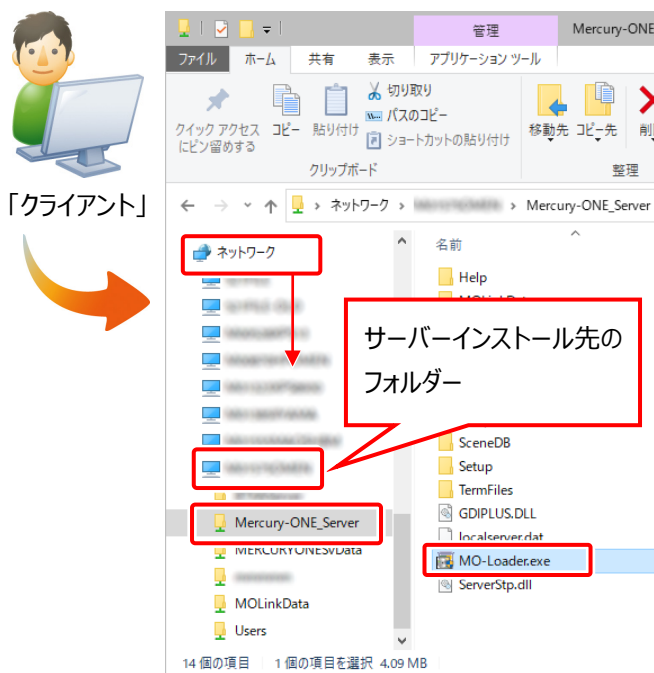
(次ページ「Step2」へ進みます)

## 次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-ONE  
クライアントのバージョンアップ

## 1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。

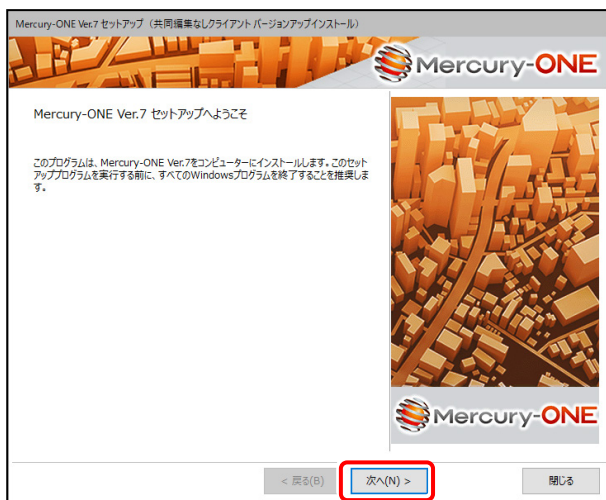
「ネットワーク」からサーバーを選択して、  
「サーバーインストール先のフォルダー」にある  
「MO-Loader.exe」を実行します。



## クライアントとサーバーが、同一PCの場合は

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行してください。

## 2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



「ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



内容を確認して、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



必ず確認してください。

「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- ・【占有】：ネット認証ライセンス（占有）の場合に選択します。
- ・【LAN】（※1）：ネット認証ライセンス（LAN）の場合に選択します。
- ・【占有 + LAN】（※1）：ネット認証ライセンス（占有）とネット認証ライセンス（LAN）を併用する場合に選択します。
- ・【共有】：ネット認証ライセンス（共有）の場合に選択します。

（※1）LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- ・【USBローカル】：USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
- ・【LAN】（※2）：USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
- ・【USBローカル + LAN】（※2）：USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。

（※2）LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」を確認してください。

確認を終えたら、「閉じる」を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

次ページへ

## 5 フリーフォーマットを追加します

プログラムのバージョンアップ時には、計算書・求積表フォーマットが追加されている場合があります。

**最後に、必ずフリーフォーマットの追加を実行してください。**

※ サーバークライアント（共同編集あり）（共同編集なし）の場合は、いずれか 1 台のクライアントで「フリーフォーマットの追加」をおこなえばOKです。このときサーバーのフリーフォーマットが追加されます。

### 1. Windows11 の場合

- [スタート] ボタン - 「すべてのアプリ」
- [FukuiComputerApplication]

Windows10 の場合

- [スタート] ボタン
- [FukuiComputerApplication]

から

[Mercury-ONE Ver.7 フリーフォーマットの追加]

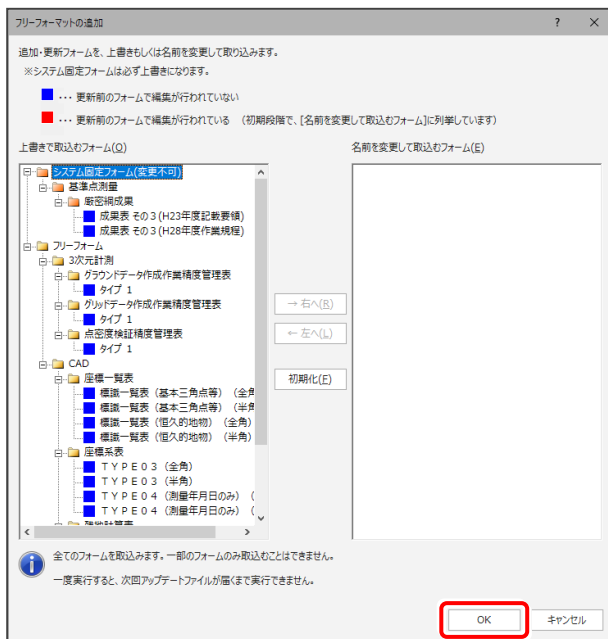
を実行して下さい。

追加の必要が無い場合は、「既にフリーフォーマットデータは追加されています」と表示されます。

### 2. 追加フォームがある場合は、[フリーフォームの追加]

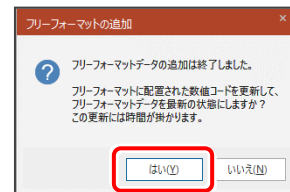
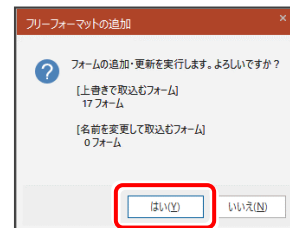
ダイアログが表示されます。

内容を確認して、[OK] をクリックします。

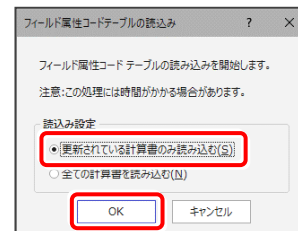


※ ダイアログの項目については、右上の [?] ボタンで表示されるヘルプを参照してください。

### 3. 表示されるメッセージにしたがって、処理を進めます。

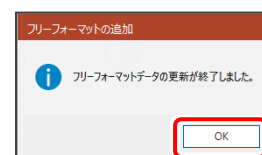
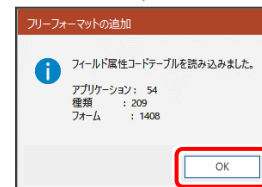


[更新されている計算書のみ読み込む] を選択して [OK] をクリックします。



処理時間は、環境によって異なりますが、1時間ぐらいかかる場合もあります。

その間、コンピューターのシャットダウン等は決しておこなわないでください。



以上で Mercury-ONE のバージョンアップは **完了** です。